

# かしわ



【校訓】進取・自律  
生徒が行きたい学校  
保護者が行かせたい学校  
地域が応援したい学校  
教職員が働きたい学校

## 豊崎のチカラ結集 ～第2回豊崎大運動会～



5月18日(土) 天気予報に反して穏やかな五月の空の下、第2回豊崎大運動会が開催されました。豊崎小学校・豊崎児童館と合同での開催は去年の経験が生かされ、スムーズに進行しました。

「繋ぐ～響け豊中ソーラン令和の朝に～」の運動会スローガン(中学校生徒会作成)は「児童館・小学校と中学校を」「これまでの伝統に自分たちが作り上げる新しい伝統を」「平成を令和という新しい時代に」繋ぐことをイメージしています。このスローガンを具現化すべく、中学校の競技

【白軍応援合戦】制作・閉会式の演出等は全て、生徒が発案・計画・準備しました。3年生を中心として生徒の自主性が発揮され、ゴールのイメージと見通しをもって取り組まれたその一つは、本校の強みである話合いを繰り返すことで、改善が積み重ねられ、意識も完成度も高まり、見事の一言でした。また、学年を超えた話合いを通して、紅軍・白軍ともにそれぞれの課題に逃げることなく対峙し、解決に努力する中で、互いの絆も強く結ばれたようでした。



【紅軍応援合戦】



【両校長先生にシールをもらう小学生】

当日は、児童・生徒のご家族をはじめ、地域の特別会員の皆様も早朝から多数ご参観くださり、温かいご声援をいただきました。運動会に先立ち行われた環境整備では、小中の保護者の皆様が結束して、草取り・グラウンド整備・入場門等の準備に取り組んでくださり、子どもたちの安全に気を配ってくださいました。中学校といたしまして、心より御礼申し上げます。

また、大会前後には、地域の特別会員の方々から運動会に向けて様々なご支援をいただいておりますことにつきましても、ご報告いたします。ありがとうございました。



【生徒たちの声】

僕ら3年生はいい運動会を作りたいという気持ちが強過ぎるあまり、口調がきつくなってしまったり、団長に至っては、伝えたいことがたくさんあり過ぎて、いっぱいいっぱいになってしまったことは申し訳ない。ただ、僕たち3年生のための運動会ではなく、君たち1、2年生一人一人の運動会であり、君たち一人ひとりが楽しむための運動会なので、明日は、3年生のためにというようなことは一切思わず、とにかく存分に楽しんでほしい。僕らも楽しむし、そういう運

【運動会のアイドル 児童館のみんな】 動会にしたいと思っている。(運動会前日3年室長中村心勇)

準備・本番を通して、自分がその時できることを全力ですることができ、軍のみんなのサポートに回る大切さを学ぶことができました。また、困ったことがあったら、すぐ相談することの大切さを学ぶことができました。これからの生活の中で、自分がその時できることを探したり、周りの人と相談したりしていきたいです。(白軍団長3年松田翼)



自分が学んだこと・成長できたこと…自分だけではなく周りの人や後輩のことを考えて行動すること。どうしたらやる気を出してもらえるか考えること。どんな運動会にしたいのか考えること。勝敗よりも楽しめていい思い出になったと思えるほうが嬉しいこと。全力で取り組むことが喜びになること。見通しをもって計画を立てられたこと。後輩に注意することができたこと。(生徒会役員3年小笠原星良)

自分が学んだこと…運動会の意味を改めて確認できた。明るく楽しいダンスにすること。テーマに寄せて行動すること。先のことを考え、的確に指示を出せるよう事前に考えること。時間がないことを分かってもらえるようにすること。相手の話をよく聞き、そのうえで教えること。(3年小笠原幸恵)

準備期間で学んだことは、表現することの大変さです。自分達が笑顔でダンスしていると思っけていても、見ている人には伝わっていないことが多かったです。少し大きめに笑顔で踊ると伝わると思うので、文化祭で生かしたいです。時間の大切さも学びました。限られた中で、どれだけ良

いものが作れるか。だから、中身の濃い練習をすることが大切だと学びました。成長できたことは、後輩をまとめることです。後輩のやる気を引き出すことが難しかったのですが、団長の翼君が、おもしろくかつ真面目にみんなをまとめてくれたので、副団長としても活動することがとても楽しかったです。本番は声も踊りも一番大きくできました。思い出に残る大運動会にできたのは、先生方や後輩のみなさんのおかげです。ありがとうございました。(白軍副団長3年中村萌乃)



# 八戸市一の行進とマナーで! ～生徒自らが考え取り組む市中体～

本校では今年度4月より、文部科学省の通達に従って「豊崎中学校部活動に係る活動方針」を策定いたしました。これを機に部活動の本来の目的である「部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力に資するものとして、学校教育の一環として行われるものである。」(「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」文部科学省スポーツ庁)を再確認するとともに、運営方針として「部活動の目的や指導方針を具現化し、それらを育む基盤としての部活動を持続可能なものとするために、本校の教育課程との関連付けを図り、他の教育活動と同様、生徒による自主的で探究的な活動をその基本とする。」を第一義として掲げております。

本校では部活動においても他の教育活動と同様、全ての生徒に対し、これからの社会において生きる力を育むことを目的として探究型で取り組むこと、生徒の心身の健全な成長を促すこと、豊かな人間関係と社会性を育むことを目的として、指導者の一方的指導、勝利至上主義や抑圧的上下関係・体罰等に陥ることのないよう基盤づくりを進めてまいります。地域・保護者の皆様の理解とご協力をよろしくお願いいたします。(「部活動に係る活動方針」は本校のホームページでご覧いただくことができます。)

市中体夏季大会(6月15～17日)に向けて、生徒たちは結団式の在り方、市中体開会式への臨み方、競技に向けて、自らの考えを確認し、自分たちが目指すところを話し合い、全てにおいて自主的に取り組みました。彼らの目指したもの、そしてその中から手にしたものは何だったのか、ご紹介いたします。

## 【「伝統更新(アップデート)」の寄せ書きより】

《1年生》1年生は初めて出るので、豊中の恥にならないようにしっかり行動する。行進もしっかりやる。(田中舜)手足を大きく動かしてきれいな行進をする。そのためには体だけでなく、

声も大きく出す。(小泉涼花)3年生が最後の大会でベストを出し切れるように、全力でサポートしながら、初めての大会でたくさんのことを学び、自分が今どれくらいの実力なのかを知って、次につながる大会にする。(上村美悠)豊中の名をいろんなところに知らしめる。(田中巧祐)行進や歌でチームワークを高める。自分のことだけでなく、やれることを見つける。(小泉遥太)

《2年生》全員に敬意をもち、それに合った行動をするという目標で、当日心掛けたと思います。行進では八戸1位を目標とし、練習・本番とも頑張りたいです。(中村いぶき)豊崎中学校の意識の高さを観客の方、他校の方に見せる。そのために行進、歌、試合などすべてに気持ちを込める。(藤村梓未)場所が離れていても、豊崎中生の一員として、みんなを応援し、自分も会場にいるような気持ちで全力で頑張る。(石井未緒)昨年度と同じように市内トップクラスの行進をして伝統を受け継ぎたいです。(中村うた)

## 【大会後の振り返りより】

《2年生》市中体お疲れ様でした。3年生が朝早くから準備してくださったり、気づいたことをすぐ教えてくださったおかげで、良い市中体にすることができました。県大会がある人も、これから受検の人も頑張ってください。そして、もっと1、2年を頼ってほしいです。3年生のサポートができる部分も多いと思うので、たくさん言ってください。(中村うた)生徒29名。全員が輝く素晴らしい豊崎中学校を作っていきたいと思います。いつも3年



【市中体に向けた寄せ書き】



【行進の指導について話し合う】

生が支えてくださっているおかげでとても助かっています。3年生はこれからもっと忙しくなると思うのでもっと頼ってください。3年生の皆さん本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。(上村彩衣)

《3年生》3年生になるとすべてが変わりました。練習や大会などすべてが最後なんだなあとようやく実感し、日々の練習を全力でやっていました。がんばれば必ず成果が出ると思い練習していました。そして、3年生最後の大会は今までで一番いい大会になったと思いました。いろんな改善点が達成できたのでよかったと思いました。1年生から3年生まで、練習が辛くてあきらめかけているときがあったけれど、今振り返るととてもいい経験になりました。部活以外の学校生活に生かせることをたくさん学びました。例えば「自分自身を信じて勇気をもつこと」「相手のことや周りのことを考えること」などです。これらのことをこれからの学校生活に生かしていこうと思います。この大会は私を大きく成長させてくれました。本当に感謝しています。そしていい思い出として残りました。(三浦木花)

今年の夏季大会は行進練習から大変でした。どうしたら全力で行進してくれるか、温度差がなくなるのか考えていました。最後は温度差がなくなり、団結して全力で行進することができました。当日の競技では、200mは予選落ちで32秒を切るできませんでした。正直これに関してはただ終わったなとしか思いませんでした。しかし、次のリレーは違いました。天候のせいでバトンミスをしてしまい、失格になってしまいました。その場ではすぐに切り替えて吹っ切れたように感じていましたが、家に帰ってみると、張りつめていた気が緩んで、風呂の中で泣きました。このことから自分にとってリレーが取れただけ心に響いているのか、後輩たちの前でどれだけ気を張っているのか気づきました。スポーツをやっていて悔しいと思ったのはこれが初めてでした。自分は夏季大会に、最後なのに悔いを残してしまったので、後輩には悔いを残さず頑張ってもらいたいです。(赤坂健瑠)



今年、この立場になって学んだことは本音で話すことです。私は本音で話すことが苦手で、嫌いです。褒めれば伸びるのではないかと考えて、本音を言うことを抑えてきました。それに本音を言ったら逆に悪影響になると思っていました。でも、それは違って、人は本音にこそ影響を受ける生き物なんだと、今年分かりました。本音をいうのは辛いことでもあるけれど、必要なことだと思います。正直、部長も行進リーダーも引き受けたくありませんでした。しかし、生きてる上“楽”ばかりでは

【一つになろうと訴えるリーダー】 おもしろくないし、たまには自分にハードルを設けるのもいいなと思えてきた自分が出てきて、成長したな～と3年生になってようやく思えてきました。この辛さも、ある意味楽しさの一種なんだと感ずることができた夏季大会でした。バスケの試合の結果はとても残念でしたが、満足のいくものでした。「あのときこうしていれば」と思ったこともありませんでした。やる気のありすぎる1年生とサポートが充実しすぎる2年生との最後の大会でしたが、本当にこのメンバーでできてよかったと思います。星良、後輩との懸け橋の役目をしてくれてありがとう。何度助けられたか分からないよ。萌乃わがままな私と一緒にリーダーしてくれてありがとう。ごめんね。迷惑しかかけてないね。今までどれだけの人に支えられてきたのか分かりました。これからは生かしていきたいです。後輩に伝えたいこと。一つ一つの動きに気を配り、一つ一つの行事に全力をつくした先に今までの辛さや苦しさが報われる“楽しさ”があります。嫌なことも苦しいことも乗り越えなければ、自分のためになりません。逃げずにチャレンジしてください。でも、一人で苦しまないでください。人に相談することは「逃げる」ではないんです。私はそれができなくて一人で抱えていました。辛すぎてつぶれる前に助けを求めてください。仲間がいれば、もっと楽しくなると思います。がんばってください。(嶋森藍那)